

平成27年11月20日

松山河川国道事務所

国道33号松山外環状道路インター線（市坪IC～余戸南IC）
の開通6ヶ月後の交通状況やストック効果について
～新たなルートによるストック効果が出ています～

3月21日（土）に国道33号松山外環状道路インター線（以下「外環インター線」）市坪IC～余戸南IC間が開通したことによる6ヶ月後の交通状況やストック効果についてお知らせします。

1. 外環インター線部分開通後の交通状況

- ・外環インター線を利用する交通量が**約3割増加**
開通1ヶ月後 約3,600台/12h → 開通6ヶ月後 約4,800台/12h
- ・余戸南地区交差点と松山ICを通過する交通のうち、**約8割**が外環インター線を利用

2. 外環インター線を利用して患者を迅速・安全に搬送可能に

- ・松山市西部から愛媛大学医学部附属病院へ搬送する場合に、**約7分の時間短縮**
開通前のルート（国道11号経由）約35分 →
開通後のルート（外環インター線経由）約28分

3. 通学路の安全性が向上

- ・抜け道利用が減り県道久米垣生線の通学時間帯の交通量が**約1割減少**
H26年度（開通前）約1,600台/2h → H27年度（開通後）約1,400台/2h
※通学時間帯 朝7:00～9:00 2時間の交通量

4. 開通した松山外環状道路沿線の地価下落幅が縮小

- ・愛媛県全体の地価は下落が続いているが、松山外環状道路沿線で下げ止まり傾向

※ストック効果：整備された社会資本が機能することによって継続的に中長期的に得られる効果

※今後も引き続き調査を行い、ストック効果を検証していきます。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.5圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」及び「No.6防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

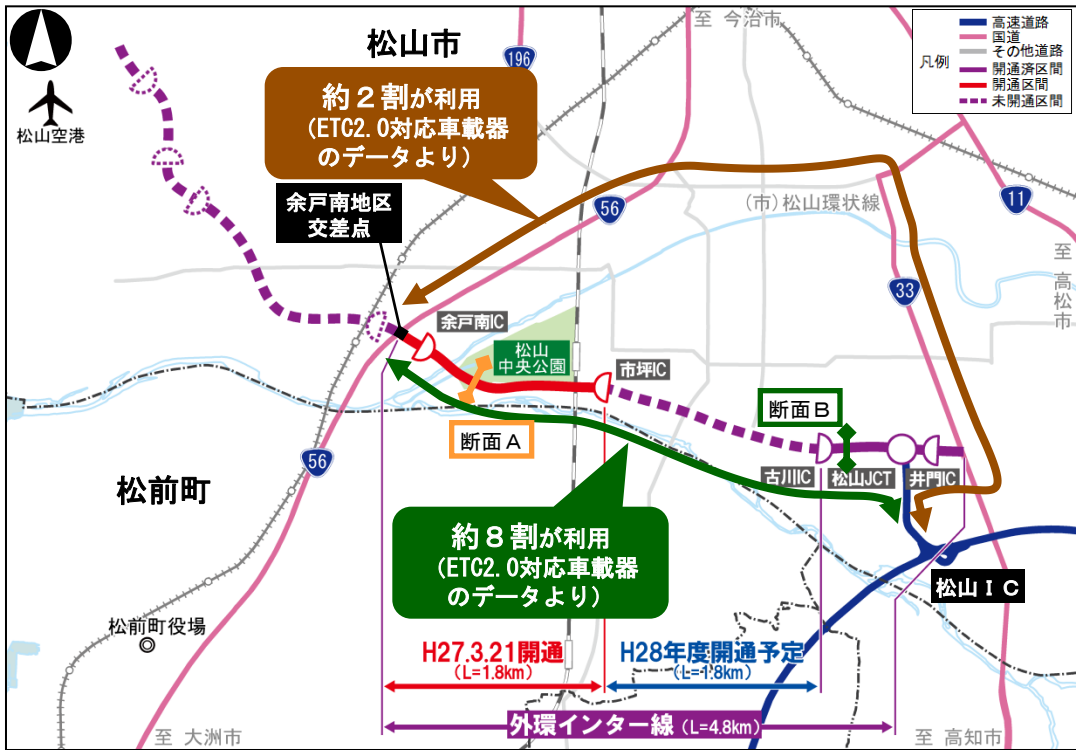
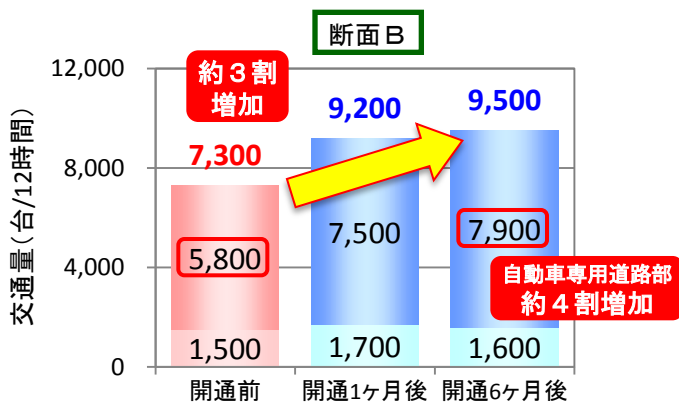
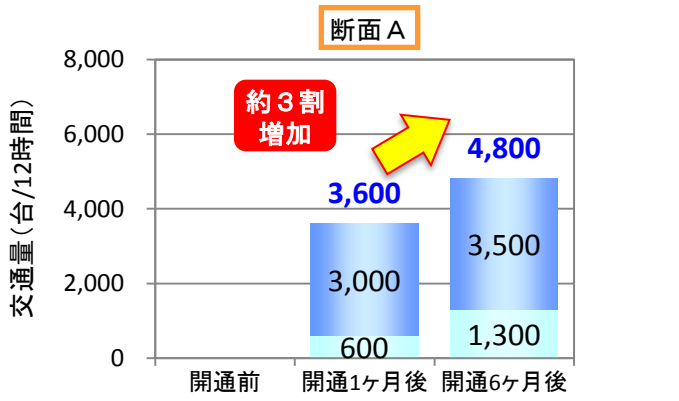
問い合わせ先：四国地方整備局 松山河川国道事務所 計画課
事業対策官：大西 良明（内線：208）
◎ 計画課長：高井 健一（内線：261）
代表 089-972-0034
直通 089-972-0415
FAX 089-972-8117

◎：主な問い合わせ先

1. 外環インター線部分開通後の交通状況

○外環インター線の利用交通量が**約3割増加**しています。
 ○余戸南地区交差点と松山ICを通過する交通のうち、**約8割**が外環インター線を利用しています。

外環インター線の交通量変化



凡例 → 開通前のルート ← 開通後のルート

資料: ETC2.0データ(平成27年3月21日～平成27年8月31日)
 松山ICを利用する交通を対象に、松山IC～余戸南地区交差点間の交通を抽出し、外環インター線経由と松山環状線・国道33号経由の割合を算出。

凡例	自動車専用道路交通量 (開通前)	自動車専用道路交通量 (開通後)
側道交通量 (開通前)	側道交通量 (開通後)	

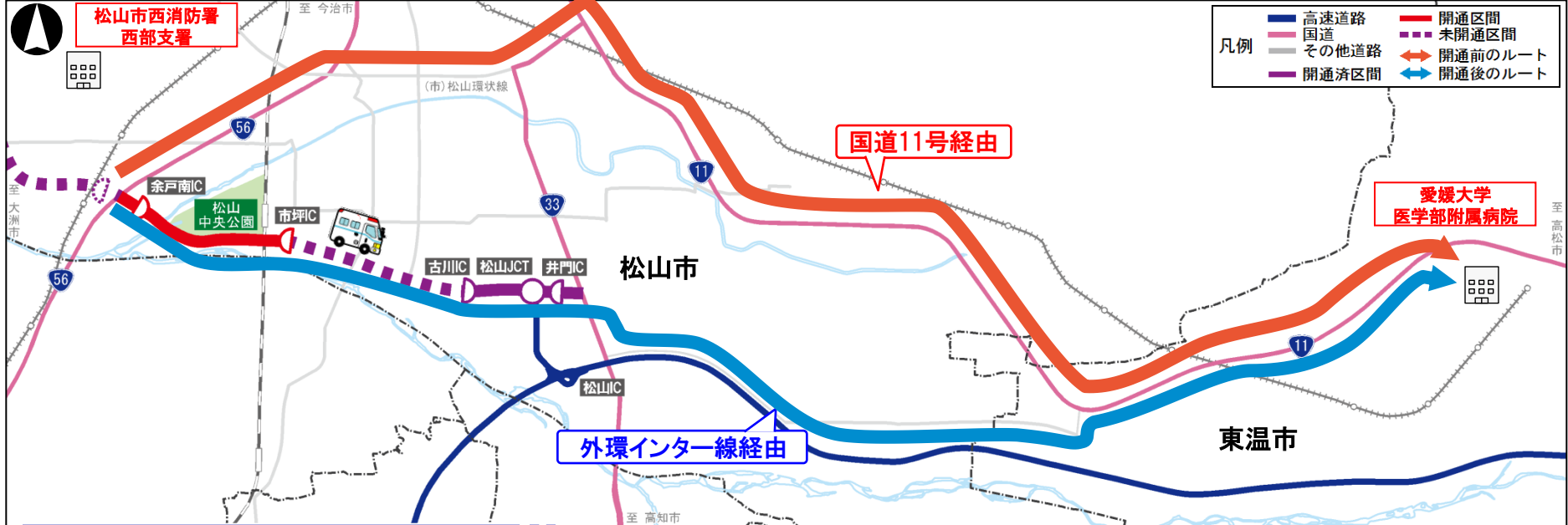
調査実施日時

- 開通前 : 平成26年 10月21日(火) 7:00～19:00
- 開通1ヶ月後 : 平成27年 4月21日(火) 7:00～19:00
- 開通6ヶ月後 : 平成27年 10月14日(水) 7:00～19:00

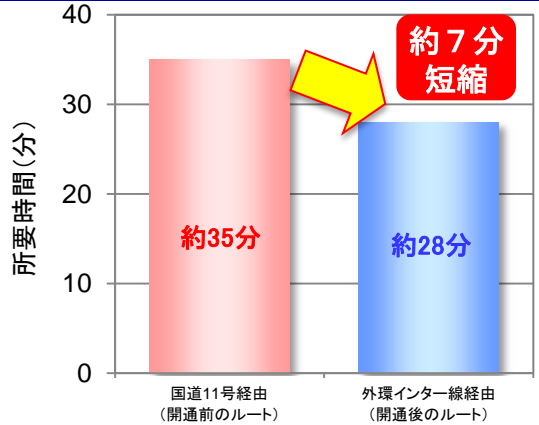
2. 外環インター線を利用して患者を迅速・安全に搬送可能に

- 外環インター線開通後、松山市西部から愛媛大学医学部附属病院へ搬送する場合に、外環インター線が利用されており、開通前のルートと比べ**約7分の時間短縮**となっています。
- 外環インター線利用により、患者への負担が大きく軽減されており、救急医療活動を支援しています。

松山市西部方面からの緊急搬送ルート



余戸南地区交差点～愛媛大学医学部附属病院の所要時間



○松山市西消防署 西部支署の声
 (平成27年10月22日ヒアリング)

- ・開通前は、(市)松山環状線から国道11号を経由し、愛媛大学医学部附属病院に搬送していましたが、開通後は**外環インター線を多く利用**しています。
- ・車両を揺らすことができない骨折患者等は、**揺れの少ない外環インター線**を利用することがあります。
- ・道が広い**ため、小回りの利かない救急車にとっては走りやすい道**です。

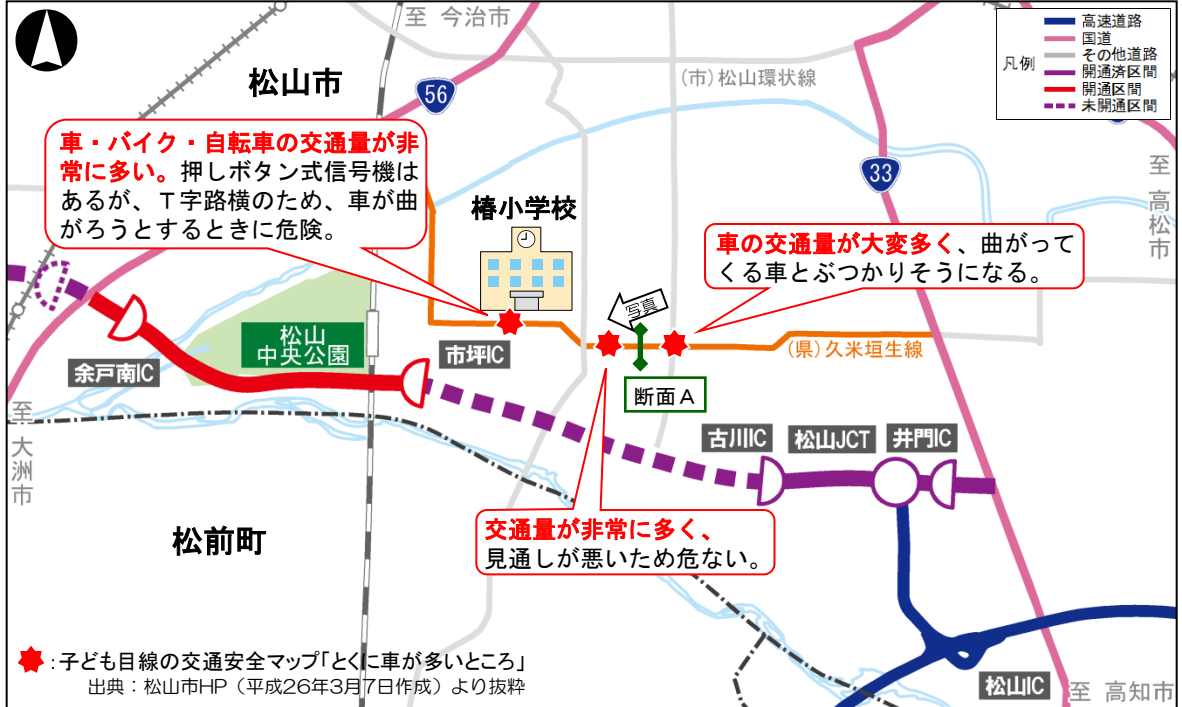


資料：民間プローブデータ {平成27年4月～平成27年8月の平日・昼間12時間(7:00～19:00)平均}

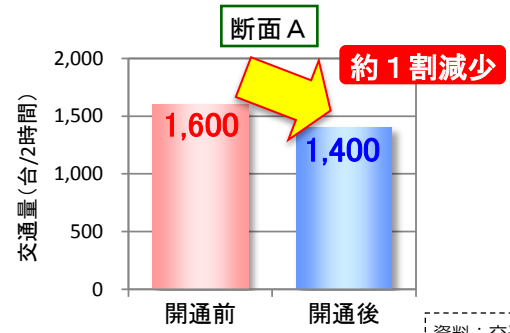
3. 通学路の安全性向上

○(県)久米垣生線は交通量が多く、通学児童が危険と感じていました。
 ○外環インター線開通後は、(県)久米垣生線の通学時間帯(7時～9時)及び日中(7時～19時)の交通量が約1割減少しました。

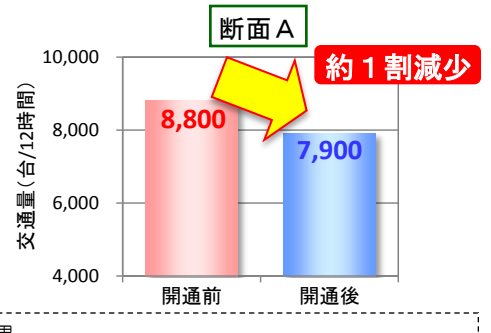
(県)久米垣生線の交通状況の変化



7時～9時の交通量変化



7時～19時の交通量変化



小学校の通学への影響

○椿小学校の声(平成27年10月22日ヒアリング)

・私見ですが登校時に見回っていて、車列の長さは短くなっているように思います。

資料：交通量調査結果
 ・開通前：平成26年10月21日(火) ・開通後：平成27年10月14日(水)

